



いみず市議会だより

Imizu City Congress News

No.35

平成26年8月1日発行



富山新港海王岸壁に寄港した豪華客船「ぱしふいっくびいなす」。

暑中お見舞い申し上げます 射水市議会議員一同

7月

6月

5月

252314 日日日	26 日	25 日	24 日	2320 日日	19 日	18 日	13 日	6 日	2 日	26 日	21 日	2019 日	1413 日
議会運営委員会 議会広報編集委員会 議会広報編集委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会	議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会	議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会	議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会	議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会	議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会	議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会	議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会						

市議会のひびき

議会通信

行政視察報告

常任委員会ごとに行政視察を行い、所管事務に関する他の自治体等の先進的な事業を調査してきました。

総務文教常任委員会 (5月20日~22日)

- 福岡県大野城市：行政改革について（フルコスト計算書診断）
- 佐賀県武雄市：指定管理者制度について（市図書館）
- 佐賀県佐賀市：防災無線について（防災総合システム）
- 熊本県熊本市：指定管理者制度について（くまもと森都心プラザ）



佐賀市役所▶

民生病院常任委員会 (5月21日~23日)

- 北海道苫小牧市：認知症対策支援事業について
- 北海道札幌市：斎場建設整備について（山口斎場）
- 北海道石狩市：地域子育て支援拠点施設について（子ども未来館あいぽーと）



石狩市子ども未来館あいぽーと▶

産業建設常任委員会 (5月14日~16日)

- 鹿児島県霧島市：バイオマスタウン構想について
- 鹿児島県鹿児島市：客船誘致など港のにぎわい創出について（マリポート鹿児島）
- 熊本県八代市：6次産業化・農工商連携について（やつしろ菜の花ファーム987）



マリポート鹿児島▶

編集後記

高橋 賢治 議会広報編集委員

来年春には待望の北陸新幹線が開通し、秋には天皇、皇后両陛下をお迎えし、本市をメイン会場に開催されます「第35回全国豊かな海づくり大会」が来年10月25日に決定いたしました。射水市が新しいステージに向けて更なる発展を遂げる絶好の機会と捉えています。そのためには、海王丸パークを中心とした射水の魅力を全国発信し、地域イメージの向上と交流人口の増加により、活性化を図っていく必要があります。

射水市合併10周年、大事な時期を迎えます。今後とも市の重要課題について、本紙を通じて詳しくご報告してまいりたいと思っております。

●議会広報編集委員会 [委員長] 四柳 允 [副委員長] 石黒 善隆
[委員] 奈田 安弘、伊勢 司、津田 信人、山崎 晋次、高橋 賢治、中村 文隆

次の定例会は9月
会期日程は、決定次第ホームページに掲載いたします。
くわしくは、議事調査課 (Tel:82-1950) までお問い合わせください。

議会を読もう
いみず市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行します。皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を身近に感じてください。

議会を見学しよう
射水市議会では皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に新湊庁舎3階議会事務局までお越しください。



6月臨時会

◆議案第45号 平成26年度射水市一般会計補正予算（第1号）

22億5,791万円減額（予算総額 392億4,599万円）

・庁舎整備事業に係る継続費：10億1,670万円増額
〔継続費総額 59億3,920万円〕

※ 庁舎整備事業に係る継続費は増額しているが平成26年度予算が減額になっているのは、事業期間を1年延長したことなどにより、継続費の年割額を改めて設定し直したことになるもの

6月定例会

◆議案第46号 平成26年度射水市一般会計補正予算（第2号）

3億3,297万2千円増額（予算総額 395億7,896万2千円）

- 県内6市町村による共同利用型自治体クラウドの導入
- 小規模多機能型居宅介護施設や認知症高齢者グループホームを整備する法人への補助金
- 生活困窮者自立支援法の施行に向け試行的に実施する支援業務に要する経費
- 黒河保育園の大規模修繕
- 農業経営の発展・改善を目的として、経営体が取得する農業用機械等の購入費用に対する補助金
- もみ殻循環プロジェクトチームが実施する、もみ殻を燃料とした再生可能エネルギー施設の実用化と燃焼灰の珪酸資材化に向けた技術実証を支援する補助金

おめでとうございます



永年勤続議員表彰

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から永年勤続の表彰を受けられた議員へ、6月定例会開会日の冒頭に議長から表彰状が伝達されました。

【在職15年以上表彰】

小島 啓子 議員

注) 市議会議員になる前に町村議会議員であった場合は、その期間の2分の1を在職期間に加えて計算します。

議決結果一覧表（平成26年6月射水市議会臨時会）

番号	件名	結果
第45号	平成26年度射水市一般会計補正予算（第1号）	可決

番号	件名	結果
第3号	専決処分の報告について（平成26年専決処分第10号 市営住宅の家賃等の支払及び明渡し請求に係る訴えの提起）	—
第4号	継続費繰越計算書について（一般会計）	—
第5号	継続費繰越計算書について（水道事業会計）	—
第6号	繰越明許費繰越計算書について（一般会計）	—
第7号	建設改良費繰越計算書について（下水道事業会計）	—
第8号	建設改良費繰越計算書について（病院事業会計）	—

番号	件名	結果
第2号	新庁舎建設計画の見直しを求める請願	不採択

議決結果一覧表（平成26年6月射水市議会定例会）

番号	件名	結果
第46号	平成26年度射水市一般会計補正予算（第2号）	可決
第47号	第2次射水市総合計画基本構想の策定について	可決
第48号	射水市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の制定について	可決
第49号	射水市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
第50号	射水市市税条例の一部改正について	可決
第51号	射水市重度心身障害者等医療費助成に関する条例の一部改正について	可決
第52号	射水市営住宅条例の一部改正について	可決
第53号	射水市火災予防条例の一部改正について	可決
第54号	市道路線の認定について	可決
第55号	動産の取得について（救助工作車）	可決
第56号	動産の取得について（高規格救急自動車）	可決
第57号	動産の取得について（消防ポンプ自動車2台）	可決
第58号	射水市立新湊中学校新築（外構）工事請負契約について	可決
第59号	消防救急デジタル無線整備工事請負契約について	可決
第60号	射水市片口コミュニティセンター新築（建築主体）工事請負契約の一部変更について	可決
第61号	射水市立小杉中学校耐震補強及び大規模改造第Ⅱ期（建築主体）工事請負契約の一部変更について	可決
第62号	射水市立射北中学校屋内運動場耐震補強及び大規模改造（建築主体）工事請負契約の一部変更について	可決

番号	件名	結果
第9号	専決処分の報告について（平成26年専決処分第11号から第14号まで 和解及び損害賠償額の決定）	—

番号	件名	結果
第2号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	可決

番号	件名	結果
第3号	憲法解釈を変えて集团的自衛権行使を容認することに反対する意見書採択を求める請願	不採択

平成26年度射水市一般会計補正予算など19議案を議決しました。

一般質問

- ①福祉入浴券について
- ②空き家対策条例について



澤村 理 議員

問①▶▶ 市民からの「今のままでいいののか」などの意見や他市の取り組みを踏まえ、対象年齢を拡大するなど制度の改善が必要と考えるが、見解を伺う。

答▶▶ 昨年度に対象施設を拡充し、その他公衆浴場でも利用できる共通福祉入浴券を取り入れることにした結果、見直し前との比較では、交付率が67%から75%に増加し、利用率も46.2%から49.1%に増加するなど、一定の成果が見られた。したがって当面は現行のままで継続することとし、引き続き利用状況等の推移を注視していく。

問②▶▶ 空き家の発生を防ぐための方策について伺う。

答▶▶ 新たな空き家が発生すること自体を防ぐことは、重要であると認識しており、空き家にならないよう有効に活

用されることが必要である。まず、空き家情報バンクの活用による中古住宅の流通の活性化、あるいは「木造住宅耐震改修助成制度」の活用による空き家の再生を推進していくとともに、空き家の管理及び有効活用に取り組む地元NPOや民間事業者の活動に協力し、所有者からの情報収集や、「売りたい」「貸したい」「改修したい」等の相談に対応できる体制づくりに支援していく。さらに、今後、学識経験者、宅建協会、住宅相談所、地域住民等で構成する「(仮称)空き家対策推進協議会」の設立を予定しており、既成市街地の住環境の改善や潜在的空き家予備軍の対処を含め、本市が取り組むべき方策を研究したいと考えている。

その他の質問
●富山新港の整備について

一般質問

- ①政治倫理について
- ②新庁舎建設について
- ③釣り桟橋について



津本二三男 議員

問①▶▶ 「市長等政治倫理条例」(案)骨子が示されているが、最近出された最高裁の判決を参考に、2親等以内の親族企業について、市の請負又は下請契約等を辞退させる努力義務を入れるべきと考えるが、見解を伺う。

答▶▶ 2親等以内の親族企業などといった具体的な規定を設けることは考えていない。2親等以内はもとより、広く親族や関係者、友人であったとしても、特段の便宜を図ることはしないという規範を確立したいと考えている。

問②▶▶ 新庁舎建設は、すべての地域の共感、幅広い市民の共感がなによりも大事だと考える。広範な市民の共感が無い庁舎は、「市民としての一体感」を阻害するシンボルにさえなりうる。また、一旦建設してしまえば70年、80年は建て

直すことができないことから、アンケート調査を行い、建設前に市民の意向を確認すべきと考えるが、見解を伺う。

答▶▶ 既に入札の執行段階に入っていることに加え、市民に様々な機会をとりながら説明し、意見もいただきながら一つひとつ積み上げてきた経緯から、改めて市民の意向を確認する必要はないと考えている。

問③▶▶ 市内に安全に海釣りができる施設がないため、立入禁止区域に侵入する人が見受けられる。安全に海釣りができるよう、釣り桟橋の設置を県に求めるべきと考えるが、見解を伺う。

答▶▶ 市の「射水みなとまちづくり方策」において賑わいの形成を目指す機能の一つとして設定し、県の港湾計画においても位置付けられていることから、実現に向けて要望していきたい。

今後について。また、障がい者総合支援法の一部改正により、市民後見人養成事業が必須事業になったが、本年度以降の計画を伺う。

答▶▶ 「認知症高齢者徘徊SOS緊急ダイヤル事業」の登録状況は、平成26年5月末現在で17名であり、協力団体は地域包括支援センターをはじめ介護サービス事業所を中心に61団体である。ひとり暮らし高齢者の見守りについては、これまで、ライフライン事業者や新聞販売店、生協などと協定を結んでおり、今後も事業者の輪を広げていきたい。また、市民後見人の育成については、平成28年度までは養成講座の開催、平成29年度からは射水市社会福祉協議会が法人後見として受任できる体制を整える。

その他の質問
●スーパークールビズについて

一般質問

- ①世界で最も美しい湾クラブへの加盟が内定している富山湾の魅力アップに対応した本市の取組について
- ②認知症高齢者及び知的障がい者に対する地域の見守り支援強化と市民後見人の育成について



吉野 省三 議員

問①▶▶ フランスに本部を置く「世界で最も美しい湾クラブ」が日本国内では松島湾に次いで2か所目、日本海側では初として富山湾の加盟の内定を発表した。今回の加盟は、県はもとより本市を国内外にPRする絶好の機会となる。富山湾の魅力アップのための事業への具体的な取組姿勢を伺う。

答▶▶ 県では富山湾の眺望を楽しめるサイクリング環境の整備、海王丸パークにおける水辺と光の空間の実施、マリンスポーツなど富山湾を生かしたスポーツの観光商品化に向けた可能性調査、定置網オーナー制度に向けたモニターツアーへの支援などを予定している。本市としても県の要請に対し、できる範囲で協力するとともに、ベイエリアを中心に射水の魅力を全国に発信していきたい。

問②▶▶ 本市の認知症高齢者徘徊をはじめとする、地域の見守り支援の現状と

代表質問

- ①新庁舎建設について
- ②教育委員会制度改革について
- ③射水市第2次総合計画について
- ④更なる農業改革について



【自民議員会】
津田 信人 議員

代表質問

- ①第2次総合計画について
 - (1)市のビジョンは
 - (2)人口減少対策について
 - (3)公共施設の統廃合について
 - (4)正社員化に向けた取り組み
- ②教育行政について
 - 絵本館3館連携事業について



【市民同志会】
古城 克寛 議員

問①▶▶ 新庁舎開庁に向けてのスケジュールと、新庁舎へ移転後の旧庁舎の利活用や跡地利用について伺う。

答▶▶ 今後のスケジュールは7月中旬入札、8月中の本格的な工事着工、平成28年8月末まで庁舎本体の他、立体駐車場及び外構工事の全てが完成予定で、同年秋頃に開庁予定である。庁舎跡地だけでなく、他の公共施設の集約や再編も考慮した利活用を進めたいと思っている。跡地利用等については庁内組織で検討しているところであり、本年12月頃までにより具体的な方向性を示したいと考えている。

問②▶▶ より多くの教育現場の意見を聴取するため、定数の見直しも考える必要があると思うが、当局の見解を伺う。

答▶▶ 本市では5人それぞれの委員が豊富な経験からくる高い見識と使命感を持ち、公正で中立な教育の執行に一生懸命職務に取り組んでいる。定数の見直しという点では何人が適切であるか判断は難しいが、現在数が少ないと感じることはなく十分機能していると思っている。

問③▶▶ 今回の見直しに伴う現状と課題、目的、市の将来像、人口増加に向けての少子化対策など、重点とする政策等について伺う。

答▶▶ 本市が持続的に発展していくには、社会経済情勢の変化に的確に対応

問①-1) 市のビジョンについて伺う。

答▶▶ これからの10年間は都市機能の充実・強化を図り、未来に向かって大きく飛躍するための重要な時期であり、本市にある魅力ある資源、さらには豊かな自然を生かしながら安心して生活できるまちづくりを進め、夢と希望に満ち、いきいきと輝く射水市を創造していきたい。

問①-2) 人口減少対策について伺う。

答▶▶ 本市の人口は26年後の2040年には7万7千人になると推計されている。人口減少は市の活力に関わる重要な課題であることから、これまでの子育て支援をさらに拡充、婚活支援など子どもを生み育てやすい環境整備、また、企業誘致に取り組み雇用の創出・拡大を図り、総合的に「住みたい、住み続けたい」と感じられる魅力あるまちづくりに取り組みたい。

問①-3) 公共施設の統廃合について伺う。

答▶▶ 健全財政の維持という観点から合併市を中心として全国的な課題であり、本市にとっても喫緊の課題と考える。今後40年間、市内182の建物をこれまでどおりの規模、構造で維持していくと仮定した場合の更新費用に約1,500億円、公園やグラウンドなども含めた382施設の維持管理費用に約1,500億円が必要との推計結果が出ている。本市が将来にわたって持続可能な財政基盤を確立するた

した施策を展開する必要から、総合計画を見直し、更なる市民福祉の向上を図ってまいりたい。また、政府でとりまて中の、骨太の方針における少子化、子育て施策の展開も意識しながら、さらにとどのような施策が有効なのか、種々検討してまいりたい。

問④▶▶ 農業生産法人や農業委員会の改革は農業者にとって大きな影響を及ぼすと考えられるが、当局の見解を伺う。

答▶▶ 農業生産法人については、地域との連携・役割分担が農地法で定められ、農地の取得や賃貸借においては、適正かつ効率的な利用の確保など責務規定があり、その窓口となる市のチェック機能の強化が重要であると考えている。農業委員会については選挙制度の廃止及び委員数の半減等が提案されている。現在の農業委員会の活動が維持されているのか懸念されるが、改革案は審議中であることから国・県の動向を注視し、農業委員会本来の役割が継続されるよう努力したい。

その他の質問
●災害時協定について
●平成27年度に開催する大規模な祭典に向けて
●保険外併用診療制度改革について
●万葉線運営業務について

めには、更なる行財政改革が不可欠であり、施設の統廃合を総合的に検討し、具体的方針を示していく。

問①-4) 正社員化に向けた取組こそ重要と考えている。積極的な支援と方向性について伺う。

答▶▶ 本市の非正規雇用労働者の正社員化に向けた取組については、国の「地域づくり事業」を活用する他、市の制度である正社員化した企業への助成を行うなどの処遇改善を進めている。国や県と連携し、なお一層これらの事業の推進と啓発に取り組んでまいりたい。

問②▶▶ 幼児期から絵本との出会いは大切である。絵本館3館連携事業にどのように取り組むのか伺う。

答▶▶ 北陸新幹線の金沢延伸を絶好の機会と捉え、本市が持つ絵本文化の資源を県内外にPRできる意義深い事業であり、子どもたちが豊かな情操を育むことができる施設となるよう取り組んでいきたい。

その他の質問
●土曜授業の方向は
●スポーツ推進計画について
●歴史・文化の継承について
●老人介護の現状と第6期介護保険計画について
●農地中間管理事業について
●市民病院の経営状況と目指す医療について

一般質問

- ① 1次・2次射水市行財政改革集中改革プランの達成状況について
- ②文化財、文化施設について



山崎 晋次 議員

問①▶▶ 平成27年度以降、普通交付税が段階的に削減され、一本算定となる平成33年度には、約19億円が減額になると見込まれる。19億円の約2分の1の額である10億円を収支改善しようと掲げたわけだが、その改善状況を伺う。

答▶▶ 第1次プランでの削減額としては約21億7千万円あまりであり、第2次プランの成果としては、削減額全体で約8億3千8百万円あまりである。第1次、第2次プランにおける削減額の合計は約30億円となる。

問②▶▶ 来年度の射水市重点事業に取り上げられている「射水市内の曳山まつり」と「下村加茂神社やんさんま」の2つの文化財の上位指定はもとより、市内140の指定文化財全ての上位指定に向けてさらなる調査取組をすべきと考えるが、見解を伺う。

答▶▶ 二つの文化財については、全国に誇ることができる伝統ある文化財であり、県内外からの観光交流人口の拡大が見込まれることから、特に上位の文化財指定を目指すものである。他の文化財についても、上位の文化財指定について可能性が高い物件は、関係者と協議しながら取り組んでいきたい。

その他の質問

- 事務事業のさらなる評価・仕分について
- 観光客誘致のための仕掛け・仕組づくりについて
 - ・射水市版「いみずショップアンドスポット」の作成について
 - ・「トランヴェール」への掲載働きかけについて

一般質問

- ①公会計制度の導入について
- ②高齢者問題について
 - (1)地域包括ケアシステムについて
 - (2)元気な高齢者の社会参加、活躍の場づくりについて
- ③子ども・子育て支援について



不後 昇 議員

問①▶▶ 本市における公会計制度の導入について伺う。

答▶▶ 来年1月頃に示される予定の具体的なマニュアルや先進都市の取組を参考に、導入に向けた作業を進めたいと考えている。

問②-1▶▶ 地域における医療・介護・生活支援等を一体的に提供するための地域包括ケアシステムの構築が必要と考えるが、本市の取組について伺う。

答▶▶ 住み慣れた地域で必要な医療・介護を受けつつ生活していくためには、医療と介護のサービスが包括的かつ継続的に提供されることが重要であり、議員ご発言のとおり、医療機関や居宅介護支援事業所、介護サービス事業所等の協力と連携が不可欠であることから、引き続き多職種連携研修会を開催するなど、在宅医療と介護の連携を推進していきたい。

問②-2▶▶ 高齢者が生活支援の担い手と

なり、支援が必要な高齢者を支えることができる仕組みづくりが必要であると考え、見解を伺う。

答▶▶ 今後ますます、ひとり暮らしや認知症の高齢者が増えていくことに伴い、生活支援サービスを担う事業者への支援体制の充実・強化を図ること、更に、地域における支え合いの仕組みをコーディネートする人材の養成も必要であると考えており、今後も引き続き、関係機関と連携を強化していきたい。

問③▶▶ 子ども・子育て支援について伺う。

答▶▶ 本年9月頃を目途に、子ども・子育て支援事業計画最終案を策定する予定であり、「子育てするなら射水」にふさわしい計画となるよう準備を進めていく。

その他の質問

- マイナンバー制度について

県外からの行政視察を受け入れています。

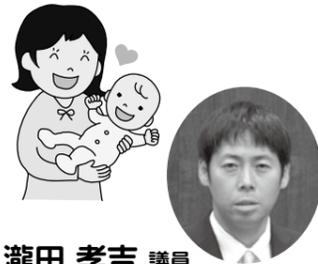
射水市議会では、各種事務事業について議会関係者の皆さまから行政視察の受け入れを行っています。5月以降、6議会が当市議会を訪れました。

月日	視察訪問市	人数	調査事項
5月14日(水)	神奈川県海老名市	7名	富山型福祉サービスについて
5月20日(火)	京都府亀岡市	10名	・地域ブランド戦略について ・もみ殻循環プロジェクトについて
5月21日(水)	福岡県宗像市	7名	コミュニティバス、デマンドタクシーについて
7月2日(水)	兵庫県相生市	3名	小型家電リサイクルについて
7月3日(木)	茨城県石岡市	10名	議会だよりの編集・発行について
7月16日(水)	岐阜県恵那市	10名	中学校の統合について



一般質問

- ①指定管理者制度について
- ②子ども・子育て支援新制度について



瀧田 孝吉 議員

問①▶▶ 毎年、管理運営状況について評価を実施しているが、ほとんどの施設がB評価である。Aが少ないことについてどのように捉えているのか。また、総合評価を現在の4段階から細分化して精度を上げてはどうかと考えるが、見解を伺う。

答▶▶ B評価は概ね良好に管理運営されているものである。また、施設所管課では、より優れた管理運営を目指しA評価になるよう指導している。総合評価についてはその客観性、信頼性を高め更なる市民サービスの向上を図るため、4段階から5段階に細分化し評価の精度を高めた。

問②▶▶ 子ども・子育て支援新制度を市民特に保護者の方々への周知・説明はどう行うのか。また、新制度では入園希望者の保育の必要性について認定を受ける手続きが新たに発生するが、その周

知・説明方法も併せて伺う。
答▶▶ 現在、少子化対策推進委員会いわゆる射水市版子ども・子育て会議において事業展開について協議している。本年9月頃を目途に、子ども・子育て支援事業計画最終案を策定する予定であり、広報・ホームページ・いみず子育て情報ちやいりどっとこむ等で周知していく。新制度における施設利用の認定手続きについては、年齢、保育の要・不要を踏まえて国が定める客観的な基準に基づき、市が児童一人ひとりについて行う。10月の入園申請に間に合うよう、9月までには入園手続きの変更点を、広報・ホームページ等で周知するとともに、保育園等が相談窓口となりながら、保護者の方々に丁寧に説明し、混乱が生じないように対応していく。

一般質問

- 小杉駅を中心としたまちづくりについて



中村 文隆 議員

問①▶▶ 特定地域再生計画策定事業エリアに小杉駅周辺の旧北陸道沿いを指定すれば都市整備部が担当。県の歴史と文化の薫るまちづくり事業は教育委員会、駅前再開発は市長政策室が担当。この縦割り体制を質問した時に各担当課は連絡を取り合っており縦割りではないと答弁したが、各々の事業は別々のもので関係はないと言う。同じ一つのエリアでまちづくりを行うには、これら各々が担当する事業を有機的に結び付け、トータルでデザインする力が必要だ。小杉駅周辺は本市の顔となる最重要地域であり、且つ周辺施設である小杉庁舎、小杉体育館、小杉社会福祉会館、働く婦人の家等をどうしていくかという問題もある。個人的には統廃合して一か所に複合施設を考えると、それらの課題も含め、この駅周辺のまちづくりを描くには、もはや担当課だけでは不可能ではないか。また、コ

ンサルティング会社への依頼や、その写真等を基にしたお決まりの各種団体からなる審議会等で、地域住民や市民が納得するような地域に根差した創造的なアイデアが生まれるとは到底思えない。本来、まちづくりとは市民自身の手で行うもの。審議会やパブリックコメントなど形式的な市民参画・同意を是とせず、自分たちのまちは自分たちでつくるという原点に立ち返り、多少の時間が掛かっても、地域のために自分が何ができるかと常に考える市民による市民協議会を立ち上げ、市民の力を活用する手法をとるべきと考えるが、見解を伺う。

答▶▶ 今後、新たな事業においても、計画から実行までの間、十分な議論を重ね、進めていく。

その他の質問

- 人口減少と企業立地の費用対効果について

一般質問

- ①少子化対策・子育て支援について
 - (1)男性の育児休業取得促進奨励金について
 - (2)放課後児童クラブ受入体制の充実について
- ②正規職員手話通訳士の活用について



小島 啓子 議員

問①-1▶▶ 育児休業を取得した市内企業に勤務する男性とその雇用主に対し奨励金を支給する制度を創設してはどうか。

答▶▶ 国においては、本年4月から男女ともに育児休業の取得を更に促進するため、育児休業給付の給付割合を休業開始後6か月につき、50%から67%に引き上げたところであり、本市としては、今後とも国の育児休業取得促進施策の動向を注視していく。

問①-2▶▶ 平成27年度から放課後児童クラブの対象児童が小学校6年生まで拡大されるが、児童数はどの程度増加する見込みか。また現在の状況を踏まえ、今後の施設整備と指導員の確保について伺う。

答▶▶ 今年度と比べ、おおむね10%程度の増加を見込んでいる。また今年度、小杉小学校区及び歌の森小学校区において、それぞれ放課後児童クラブ室の整備

を進めており、全ての放課後児童クラブにおいて27年度からの受入体制が整う見込みであるが、今後も利用状況等についても十分留意していく。指導員の確保については、必要に応じ適切に対応していく。

問②▶▶ 広報誌や特に住民健診等各種機関と連携を図り手話通訳の活用をし、聴覚障がい者が事業に参加しやすい環境を整えるべきではないか。市の考えを伺う。

答▶▶ 市職員の手話通訳士については、派遣に係る要領を定めており、市長の定例記者会見や市長が出席し、あいさつを伴う全学的なイベントなどに派遣したいと考えている。要領に定める事業以外については、聴覚障害がある方々の意見を聞きながら検討していく。

その他の質問

- 乳幼児がいる世帯を対象に指定ごみ袋の無料配布について

総務文教 常任委員会

議案10件を可決しました。
所管事務について5件の報告を受けました。

■ 第2次射水市総合計画基本構想の策定について (議案第47号)

射水市総合計画を見直し、新たな総合計画を策定するに当たり、平成25年6月25日に射水市総合計画審議会に対して諮問し、平成26年5月14日に答申があったことから、この答申内容を尊重し、射水市における総合かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想とすることについて、地方自治法の規定により議決を求めるもの。

問 実施計画変更の時期及び市民ニーズの調査はどの段階で実施する予定なのか伺う。

答 基本構想の将来像の実現に向け、具体的な施策をいつ実施するのかを示すものが実施計画であり、具体的な内容については9月の定例会を目途にお示ししたいと考え、現在、作業を進めている。
実施計画は、前期計画を平成26年度から28年度までの3か年、中期計画を29年度から31年度まで、後期計画を32年度から35年度までの計画期間としている。
市民ニーズ調査については、社会経済情勢の変化等において、市民の皆様の意識をお聞きすべきでないかと判断される場合など、適宜、必要な時期に実施し、その調査結果を踏まえて市の施策に反映させていきたい。

■ 第2次射水市行財政改革集中改革プラン実績報告書について

問 今後、第3次射水市行財政改革集中改革プランを策定するに当たり、24億円余りの交付税が削減されると聞いているが、今回の実績をどのように生かし、反映されていられるのか、その方向性について伺う。

答 現在第3次行財政改革大綱を作成中であり、その実施計画となる第3次集中改革プランにおいて、削減が想定される交付税額24億円を基準にある程度の目標金額を定めることを考えている。しかし、目標金額を定めることよりも、予算規模を縮小するなど身の丈に合った行財政運営を行っていくことが重要であり、金額の明記については慎重に検討していく。

■ 共同利用型自治体クラウドの導入に向けた準備状況について

問 マイナンバー制度の導入に当たり、最近多発している職員の成りすまし事件等への対応やパスワード等の情報管理について、どのように指導、運用されるのか伺う。

答 番号制度導入に当たっては、個人のプライバシーに与える影響やリスクを予測・評価し、その影響を低減するための措置を講じるため、特定個人情報保護評価の実施が義務づけられており、国が定めた指針に基づいて実施に向けた準備を進めている。
また、情報セキュリティ対策の実効性を高めるため、情報機器の運用に関するマニュアルの配布や研修会を開催し、不正アクセスの防止やパスワード等の適正な管理について周知徹底を図っているところである。



予算特別委員会

6月臨時会

問 庁舎建設工事の入札が3回にわたって不調となり、建設費の高騰に伴って予算も高額になっているが、当初の見込みよりも市の実質負担額が減る見込みになっている。その理由は。

答 平成23年2月の当初計画時は、総務省が定めた基準により、庁舎建設費に充当できる合併特例債の金額が制限されていたが、同年4月に基準が見直されてその制限が無くなった。交付税措置される有利な合併特例債を充当できる金額が増加したことから、当初の見込みよりも市の実質負担額が約6千万円縮減できる見込みである。

問 射水市には要介護認定を受けている認知症高齢者が3,027人、高齢者の約12%を占めており(H25.9末現在)、今後も増加すると予想される。認知症対策には、早期に発見し、対応することが重要だが、射水市民病院には専門の外来が無く、市民が相談・受診できない。専門外来を設けることはできないか。

答 射水市民病院では、平成21年9月まで「もの忘れ外来」を設置していたが、現在は医師不足のため設置していない。
認知症は発症の原因や病状によって治療法が異なるため、専門的な医療機関で診断を受けて治療方針を立てることが必要である。高齢社会を迎え、認知症患者の増加が見込まれるため、富山大学等に働きかけて医師を確保し、確保でき次第、認知症に対応できる「もの忘れ外来」を再開したいと考えている。

6月定例会

問 平成23年度から平成29年度までを計画年次とした雨水対策基本計画の進捗状況は。また、計画事業費を33億円としているが、合併特例債等の有利な財源を活用してはどうか。

答 雨水対策基本計画は、緊急度や重要度を勘案しながら工事を進めており、順調に進捗している。財源については、地方財政法の関係で雨水対策事業に合併特例債を充当することはできないが、できるだけ有利な財源を活用し、少ない負担で整備できるよう工夫していく。

問 平成28年8月の完成を目指し、市民病院の改築工事が行われているが、現在のコミュニティバス乗り場には屋根もなく、バスを待つには不便な状態である。病気の方や高齢の方が利用することが多いことから、整備が必要ではないか。

答 改築工事に伴い、病院南側駐車場の一画にバス停を移動している。現在は駐車場の車庫棟の一部をバス待合所としているが、乗り場から少し距離があり、利用者にはご不便をおかけしていることから、7月中に、臨時ではあるが屋根つきのバス待合所を設置する予定である。

港湾振興特別委員会

問 県の事業として、海王丸パーク周辺のライトアップ設備の整備が行われるとのことだが、整備完了の時期はいつごろか。

答 県が整備を行うものである。平成26年度の予算として計上されていることから、年内には完了するものと思われる。

問 市は、寄り回り波の対策として、県に富山新港の東防波堤の改良を要望している。必要性はわかるが、漁業者からは、防波堤の設置によって魚の流れが変わるのではないかと危惧する声も聞く。市の考えは。

答 防波堤を新たに整備するのではなく、現在整備されている防波堤周辺の消波ブロック等を強化するよう要望するものであり、漁業への悪影響はない。

産業建設 常任委員会

議案3件をいずれも可決しました。
所管事務について4件の報告を受けました。



■ 射水市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の制定について(議案第48号)

適正な管理が行われていない空き家の所有者または管理者に対し、助言、指導、勧告又は命令を行うことで適正な管理を促すとともに、空き家の有効活用を推進するため、空き家に関する施策に関し、新たな条例を制定するもの。

問 空き家対策が進まない原因として、空き家の所有者がわからなかったり、解体費の問題などが考えられるが、この条例ではどのような対応をするのか。

答 所有者等を把握するため必要な調査を行い、助言、指導、勧告及び命令を行うことができ、所有者がわからない場合においても公告することにより、必要な措置を行うことができる。
管理方法や有効活用などの相談を受けるなど管理不完全な状態になることを未然に防ぐために必要な対策を講じることを定めている。

■ (株)プレステージ・インターナショナルの進出概要について

昨年12月議会定例会で報告しているが、工事内容や採用計画の一部に変更があり、また、第1期工事の投資額が示されたことから改めて報告するもの。敷地面積約63,000㎡、建築面積約9,300㎡、延床面積約11,000㎡、第1期工事の投資額は約30億円で、事務棟、託児所、カフェテリア、社員寮などを整備する。採用計画は、平成27年4月の操業開始時に200~250人の採用を見込んでいる。

問 平成27年4月の操業開始当初の雇用は200~250人とのことであるが、現段階における募集状況や事前の研修について伺う。

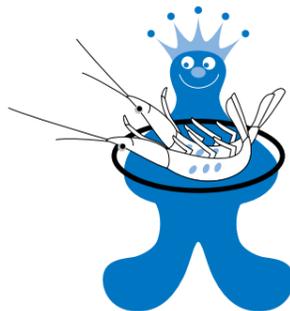
答 これまでは幹部候補社員を募集してきたが、7月から一般社員の募集も行う予定である。
事前研修は、市内の工場跡(有磯地内)を事務所として活用し、10月頃から本格的に行うと聞いている。
雇用は3年間で約1,000人を見込んでおり、市内から約4割程度の雇用が創出できると見込んでいる。

■ とやまグルメランド in いみず(仮称)について

各地域の団体やグループがまちおこしを目的に開発、販売しているご当地グルメを県内外から一堂に集める地域活性化イベント。市や県などで実行委員会を組織し、地域の食の魅力を発信、県内外から広く誘客するイベント。9月20日(土)・21日(日)に太閤山ランドふるさとパレス周辺で開催。
全国のご当地グルメや物産品の販売。ダンスショーやゆるキャラなどのステージイベントも予定。

問 例年6万人を超える集客があるイベントであるが、県央の射水市での開催では、それ以上の集客を期待している。県内15市町村にそれぞれご当地グルメがあるが、射水市からは、どのような出店が予定されているのか。

答 いみず丼、白エビかき揚げのほか、白えびかけ中を出店する予定である。全国からご当地グルメ約45団体の出店と愛Bリーグ(ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会)の参加も予定している。



民生病院 常任委員会

議案3件をいずれも可決しました。
所管事務について4件の報告を受けました。



■ 射水市市税条例の一部改正について(議案第50号)

(主な改正内容)
・軽四輪車等の標準税率を自家用乗用車は1.5倍、その他は約1.25倍に、また、原動機付自転車、二輪車及び農耕作業用小型特殊自動車については約1.5倍、その他の小型特殊自動車については約1.25倍に引き上げるもの
・法人市民税法人税割の現行税率14.7%を12.1%に引き下げるもの(平成26年10月1日以後に開始する事業年度から適用)

問 軽自動車税及び法人市民税の改正による影響額はどのようなものか。

答 平成27年度からは原動機付自転車、二輪車及び小型特殊自動車該当し、約670万円の増収が見込まれる。軽四輪車については実質平成28年度からとなり、新車限定で約700万円の増収が見込まれる。
法人市民税については、平成25年度の実績に照らし合わせ平成27年度は約1,500万円の減収となる見込みである。

■ 射水市重度心身障害者等医療費助成に関する条例の一部改正について(議案第51号)

(主な改正内容) 65歳以上70歳未満の軽度障がい者の医療費の自己負担分に係る県及び市による助成割合を2割から1割とし、自己負担割合を70歳以上75歳未満の者と同率になるよう改めるもの

問 対象者数及び改正による影響額はどのようなものか。

答 身体障害者手帳4級の一部から6級まで及び療育手帳Bを所持されている方が対象で160人の見込みである。改正に伴う影響額については、軽度の部分では当初2,070万円の予算を見込んでいたが、8月以降の公費負担が2割から1割となることから、平成25年度実績で積算し、約276万円の減となる見込みである。

■ コミュニティバス、デマンドタクシーについて

平成25年度コミュニティバス利用状況 ⇒ 総利用者数:381,250人(前年度比 ▲22,882人 ▲5.66%)
平成25年度デマンドタクシー利用状況 ⇒ 総利用者数:14,358人(前年度比 +2,279人 +18.9%)

問 デマンドタクシーの年間経費はどれくらいか。

答 平成25年度においては、約1,700万円の決算見込みである。

問 デマンドタクシーは社会実験としての運行であったはずだが、このまま運行し続けるのか。最終的に全市を網羅するのはコミュニティバスであると思うが、デマンドタクシーの目標はどこに置いているのか。

答 今年度、若い利用者の方を中心に市民会議を開催し協議する。場合によっては、デマンドタクシーではなく、現在コミュニティバスが走行している場所に、タクシーサイズの車両を走らせることも可能であるとする。デマンドタクシーも含め、具体的な市の公共交通に関し、7月に立ち上げを予定している市民会議において問題提起し、その検討内容等について12月定例会で報告したい。

■ 万葉線について

平成25年度総利用者数:過去最高の1,248,352人(前年度比 +3,520人)

問 集客効果のあるドラえもん電車を増便するわけにはいかないのか。また、1日に何往復運行しているのか。

答 プロデューサーとの契約で1台と限定されている。運行については、1日7から8往復している。

問 万葉線の延伸問題について、関連する市民環境部、産業経済部、都市整備部が一つになって進めていくべきだと思うが、延伸するつもりはあるのか。

答 延伸は手段であり、目的は公共交通を活用して、ベイエリアに賑わいを作り出すことだと思っている。その目的を達成するための手段の一つとして電気自動車の使用なども考えられる。観光客や市民にとって何が一番プラスなのか考え、関係部局と連携し実現に向けて検討していく。